

仙台市幹部が山口代表に協力要請

復興のシンボル・
ジャイアントパンダ
を東北・仙台へ



【発行】
鎌田城行事務所
〒980-0004青葉区
宮町4丁目8-15
電話/Fax 222-0895
公明党仙台市議団
電話 214-8718
Fax 711-3454

公明新聞 2023年04月29日付 2面

仙台にパンダ誘致して
山口代表に市が協力要請



仙台市からパンダ誘致に協力を求める
要請を受ける山口代表（中央）ら=28
日 衆院第2議員会館

パンダを復興のシンボルに。公明党の山口那津男代表は28日、衆院第2議員会館で仙台市からジャイアントパンダの誘致に協力を求める要請を受け「復興のシンボル」

▶公明新聞に掲載された仙台市から公明党山口代表への協力要請の記事

鎌田城行議員も議会で進捗尋ね
八木山動物公園への誘致を推進

◎公明新聞

仙台市の建設局次長と八木山動物公園長が4月28日に衆院議員会館で山口那津男公明党代表と面談し、中国から仙台市へのパンダ誘致に協力を要請しました。鎌田城行議員も、令和2年第4回定例会の一般質問でジャイアントパンダの八木山動物公園への導入の進捗状況を尋ね、市に実現を求めてきました。質問・答弁要旨は、次の通り。

◇ ◇
2020年12月14日
【質問 鎌田城行】

被災地東北の子どもたちにも夢と希望を届け復興のシンボルとなるよう、八木山動物公園にジャイアントパンダを導入する取組を仙台市が進めていますが、進展が見られず、時が過ぎていきます。決して諦めることなく、静かに見守りたいとの声を折々に市民の方からいただいています。

大震災後の5月、中国の温家宝首相が被災地を訪れたエピソードなどを契機に、奥山市長が貸与の希望をお伝えいただいた2011年9月に端を発して以来、9年を過ぎました。具体的な時期は決まっていません。ジャイアントパンダは国際的な保護動物なので、仙台に来るためには、学術研究目的として中国側と協定の締結などが必要とな

ります。現時点では、両国関係の状況から正式な協議は開始されておりません。

現在、コロナ禍で、国内外の情勢からなかなか進展は見込めないようですが、来年の東日本大震災からの復興10年に向けて、準備は万端整えておくべきです。

■答弁 建設局長

パンダの誘致については、これまで中国で開催された繁殖技術委員会に参加し、飼育や繁殖等の技術研究を行うほか、中国野生動物保護協会などへ八木山動物公園における希少動物の保護や繁殖の実績を示すなど、機会を捉えて導入に向け取り組んできました。

現在、新型コロナウイルス感染症が拡大し誘致活動を進めづらい状況だが、情勢を見極めつつ関係機関と情報共有を図りながら対応したい。

G7仙台科学技術大臣会合

広島で開催されるG7サミット（主要国首脳会議）の関係閣僚会合の一つとして、G7仙台科学技術大臣会合が5月12日から14日まで仙台市秋保地区で開催されます。

この会合では、環境問題や食料問題、エネルギー問題など地球規模の課題の解決に向けた科学技術協力の強化等について議論されます。

この機会を捉え、次世代放射光施設「Nano Terasu（ナノテラス）」をはじめとした学術資源の集積や、最先端の科学技術を活用した本市のまちづくりについて発信するほか、これまでの復興のあゆみや世界への感謝、仙台・東北の魅力について発信してまいります。

公明党仙台市議団では、小野寺利裕、小田島

久美子、佐藤和子、佐々木真由美、佐藤幸雄、竹中栄雄の各議員が、開催

郡市長が国連で演説「仙台防災枠組の評価」

郡和子仙台市長が、5月17日から21日までニューヨークの「仙台防災枠組実施状況の中間評価にかかる国連ハイレベル会合」（国連総会議長の招集）に参加します。

郡市長は、地域における防災の重要性等をテーマとするパネルセッションに登壇して、仙台市と東北大学災害科学国際研究所が共同で実施した「仙台市版仙台防災枠組中間評価」の概要や、「ビルド・バック・ベター（より良い復興）」の考えに基づいた仙台市の復興・防災に関する取り組みを発表してくる予定です。

郡市長は、「自治体レ

に向けた準備、開催地の受け入れ状況、諸会合等との連携などについて当局の姿勢を質してきました。

ベルによる実施状況の中間評価は先進的な取り組みです。この機会を捉えて、仙台の名を冠する国際的な枠組を進めていくために、本市の経験と教訓を世界の防災・減災に役立てていただけるように、枠組の採択都市としての役割を果たしてまいります」と抱負を語っていました。

公明党は、仙台防災枠組を採択した第3回国連防災世界会議の東日本大震災の被災地での開催誘致を訴え推進。山口代表は、2021年1月の参院代表質問で、「生活や行動、様々な制度や仕組みの中に『防災・減災・

復興』の視点を取り入れて、社会の主流に押し上

げていくべき」と求めてきました。

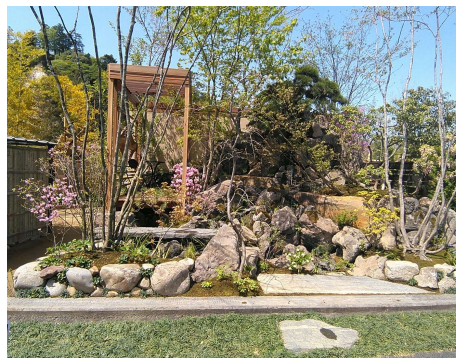
第40回全国都市緑化仙台フェア

第40回全国都市緑化仙台フェアが、4月26日（水）から始まりました。期間は6月18日（日）までの54日間です。

愛称は、「未来の杜せんだい2023（Future Green!）」

テーマは、「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」

このフェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等



を図るにより、国、

地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりにより寄与することを目的として開催するものです。仙台市では平成元年度に「89グリーンフェアせんだい」を開催して以来、34年ぶりの開催となります。

会場は、青葉山公園追廻地区を中心としたメイン会場のほか、まちなかエリア、東部エリア、連携会場と市内全域・入場無料で楽しむことができます。

鎌田城行議員と公明党市議団は、杜の都仙台への誘客促進を訴え、同イベントを推進してまいります。